

# SHOW HEY シネマ 4

★★★★

## スター・ウォーズ スカイウォーカーの夜明け

2019年/アメリカ映画  
配給：ウォルト・ディズニー・ジャパン/142分

2019（令和元）年12月29日鑑賞 TOHOシネマズ西宮OS

**Data**

監督・脚本：J・J・エイブラムス  
 出演：デジー・リドリー/アダム・ドライバー/ジョン・ボイエガ/オスカー・アイザック/マーク・ハミル/キャリー・フィッシャー/ビリー・ディー・ウィリアムズ/ルピータ・ニョンゴ/ドナルド・グリーソン/ケリー・マリー・トラン/ヨナス・スオタオ/アンソニー・ダニエルズ/ビリー・ラード

### ■ショートコメント■

◆『スター・ウォーズ』シリーズの第1作である『スター・ウォーズ エピソード4/新たなる希望』が誕生したのは1977年。それから42年経った2019年、「エピソード9」に相当する本作で、ついにシリーズ全9作が終了することに。

私は同シリーズをリアルタイムで観ていなかったが、近時の『エピソード3/シスの復讐』（05年）（『シネマ8』121頁）、『スター・ウォーズ エピソード1/ファントム・メナス』（99年）（『シネマ28』未掲載）、『フォースの覚醒』（17年）（『シネマ37』未掲載）、『最後のジェダイ』（19年）（『シネマ41』未掲載）の4本だけは観ている。しかし、ハッキリ言ってその世界観は壮大すぎるし、登場人物は多すぎるので、私にはサッパリ・・・？したがって、今回も観ようかどうか迷ったが、半分義務感で映画館へ！

◆本作については、ちゃんと勉強をしなければ・・・。そう思って1000円＋税のパンフレットを購入したが、そこには写真がてんこ盛りならデータも解説もてんこ盛り。これをすべて読み切るのは大変だ。さらに本作については、キネマ旬報12月上旬特別号に「河原一久×笠井信輔」の対談があるし、新聞批評もやたら多いから、それを読み切るのも大変だ。そこで、それは本作を鑑賞した後で・・・。

そう思って、ほぼ満席状態の映画館で鑑賞したが、前作以上に本作ではレイ（デジー・リドリー）とカイロ・レン（アダム・ドライバー）とのチャンバラ対決が増えている感があるが、さてこの2人の因縁は・・・？

◆『男はつらいよ』シリーズは1969年に始まり、渥美清が死亡した1997年までに全49作が作られた。そして、2019年の年末から2020年の正月にかけて記念すべ

き第50作目として『男はつらいよ50 お帰り 寅さん』（19年）が公開された。

それと対比しても、『スター・ウォーズ』シリーズは、本数こそ全9作ながら、1977年から42年間もコンスタントに続いてきたのだからすごい。それは、『ロッキー』シリーズも同じだが、両者ともにその人気を不動にした要因の1つは、テーマ曲のずばらしさにある。誰がいつ聴いても耳に残る『スター・ウォーズ』のテーマ曲は心地よいが、シリーズ最終作となる本作のラストでは、ひときわそのテーマ曲が鳴り響く中での大団円になっていくので、それに注目！

私たちが住んでいるこの地球は現在温暖化のために大変な局面を迎えているが、本作を観ている限り、銀河系全体はまだ大丈夫のようだから一安心・・・？いやいや、そんな油断は大敵かも・・・？

2020（令和2）年1月7日記